

なんケア通信



第24回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和元年12月6日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：38名(介護事業所関係者 18名、地域包括支援センター 4名、福祉用具事業所 1名、調剤薬局 2名、御野場病院職員 13名)



演 題

『 秋田市の高齢者虐待の現状 ～事例をとおしてアプローチと対応を学ぶ～ 』

御所野地域包括支援センター けやき 社会福祉士 石郷岡 良彦 様



令和元年12月6日(金)に「第24回なんケアの会」を開催しました。

今回は御所野地域包括支援センター けやき 社会福祉士 石郷岡 良彦様をお招きし、「秋田市の高齢者虐待の現状～事例をとおしてアプローチと対応を学ぶ～」についてご講演いただきました。寒さがつのる中、地域の医療・介護に携わる38名の方がご参加くださり、昨今、本人を含めた家族全体の支援が求められる中で、支援・介入の視点について日々のケースと照らし合わせながら熱心に聴講されていました。

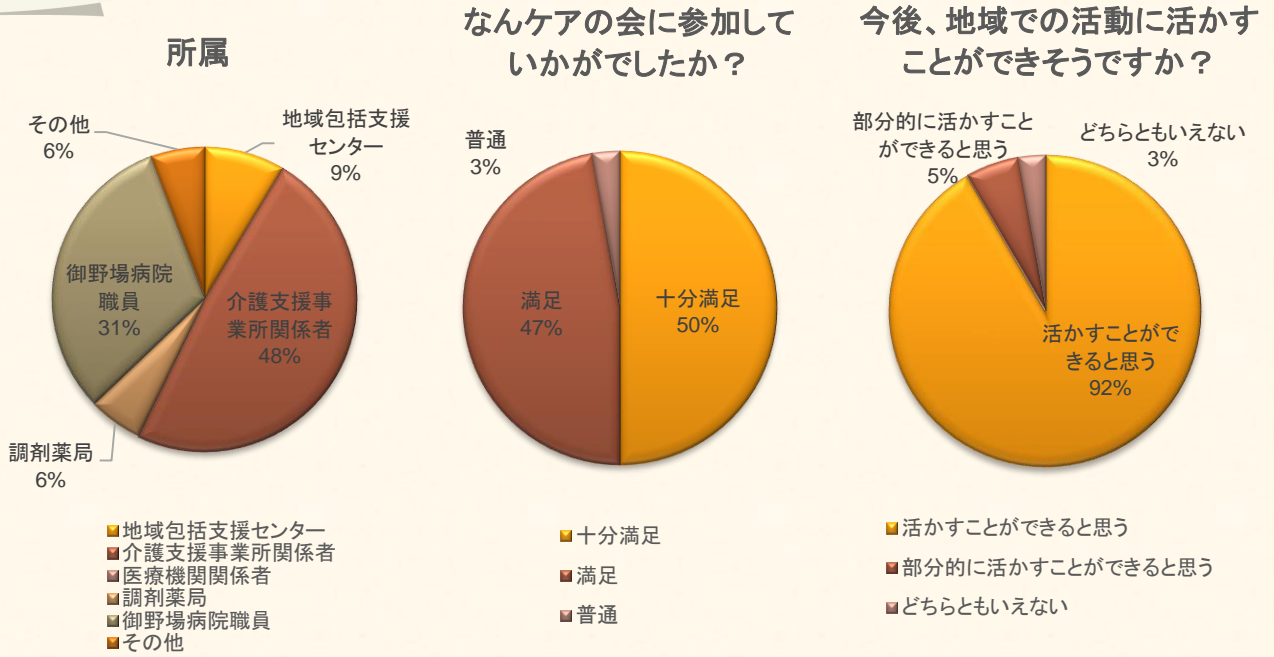
ご講演では、秋田市の高齢者虐待の実態と傾向について、年代や疾病・家族構成などのデータを基にご提示いただきました。また、虐待の発生要因や種別・内容、そして相談・通報後の流れや対処法について、4つの事例を用いて具体的にわかりやすくご説明いただきました。ケアに関わる私たちにとって大事な視点として、状況によって「安心・安全の確保を優先させる」ことはもちろんのこと、「虐待をしている人を罰することが目的ではなく、高齢者の権利利益を守ることが目的である」こと、「『虐待判断』と『対応・支援』は別に考え虐待の有無に関わらず支援の必要性を考える」ことをご教示いただきました。参加者の皆様からは、「具体的な事例を通して、対応についての説明がわかりやすかったです。」「自己を振り返りながら聞くことが出来ました。養護者支援の視点は大切だと思いました。」とご感想をいただいております。

また、実際に福祉・医療関係の機関、更に銀行や法テラスなどの多くの機関が連絡を取り合い協力をしてケースに取り組まれた対応を拝聴し、改めて地域の多職種・他機関との連携の重要性を感じさせていただきました。お忙しい中、なんケアの会のためにお時間を割いていただいた石郷岡様、参加者の皆さまには心より感謝申し上げます。

次回のなんケアの会は2月上旬に、地域の医療・介護・福祉に携わる方を対象として、「在宅ケアに役立つ薬の知識」(仮)を予定しております。来年も実りある会にしていけるよう尽力して参りますので、ご指導ご支援いただきますようお願いいたします。



アンケートの
集計結果



回収率：94.7% (アンケート配布：38名、回収：36名)



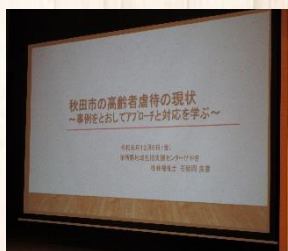
会場の様子
と
皆様からの
ご意見・ご感想



会場の様子



打合せ中です



当院の理事長



講師の石郷岡様

スキルアップの良い機会になりました。

相談支援事業所

とても勉強になりました。とても身近なテーマだったと思います。

介護支援事業所関係者

毎回バラエティーに富んだ内容で勉強になります。

地域包括支援センター

次回開催の
お知らせ

開催日時：令和2年2月7日（金） 18:00～19:15
会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

